



令和6年4月1日

報道機関 各位

名古屋市立大学 医学研究科加齢・環境皮膚科
教授 森田 明理 電話：052-853-8261

名古屋市立大学病院に 「メラノーマセンター」を開設しました

名古屋市立大学病院では、令和6年1月1日にメラノーマ（悪性黒色腫）患者さんの診断及び集学的治療に寄与することを目指して「メラノーマセンター」を東海北陸地域で初めて設置しました。本取り組みを広くお知らせするとともに、是非、ご取材いただきますよう宜しくお願いいたします。

(1) 設置趣旨

急速な高齢化に伴い皮膚がんの有病率は飛躍的に急増しています。その皮膚がんの中でも特に重症化しやすく、進行が早いのがメラノーマです。実際我々の施設でもメラノーマ患者さんの数は年々右肩上がり増加してきております。

2014年にオプジーボ[®]が保険適用となってから、複数の新規薬剤が使用できるようになり、メラノーマ手術方法や術後の治療に関しても日進月歩で変化がみられ、現在でも複数の薬剤の開発、研究が行われています。そのような進歩に対して我々名古屋市立大学ではメラノーマの早期診断、早期治療および新規治療の開発を行う事によって、将来的なメラノーマによる死亡をゼロにすることを目的に複数の診療領域の専門家が集まり、メラノーマ患者さんの診断、治療に我々の知識及び技術を集約するべくメラノーマセンターを開設しました。

本センターは東海北陸地域で初のメラノーマに特化したものであり、診断、治療のみでなく、セカンドオピニオンや診療相談、新薬の開発など多角的な役割を有しております。名古屋市立大学医学部附属西部医療センターとも連携し、侵襲の少ない陽子線治療の選択も含め全てのメラノーマ患者さんに対してのよりどころになればと考えています。

(2) 特色

- ・メラノーマに特化して各専門分野のエキスパートが迅速に対応することで、難症例の手術、化学療法、陽子線治療などを含めた多角的な治療をご提案します。
- ・受診当日に最短で検査、治療などの予定を確保します。
- ・初診時からフォローまで日本皮膚科学会認定、皮膚悪性腫瘍指導専門医及び各診療科の専門医が一貫して診察することにより、適切な医療を提供します。

(3) 機能イメージ



名古屋市立大学病院 「メラノーマセンター」

(4) その他

2024 年秋頃を目安にオンラインセカンドオピニオンも開設予定であり、後日ホームページ等でご報告をさせていただきます。

【報道に関するお問い合わせ】

名古屋市立大学 病院管理部経営課
愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1
TEL : 052-858-7529 FAX : 052-858-7537
E-mail : hpkouhou@sec.nagoya-cu.ac.jp